

弘前築城 400 年祭記念事業特別企画

津軽塗

－ 温故創新 －

開催期間

2011.4.16 ～ 5.8



弘前市立博物館

(地独)青森県産業技術センター

弘前地域研究所

津軽塗展実行委員会

場内案内図

津軽塗 — 温故創新 —

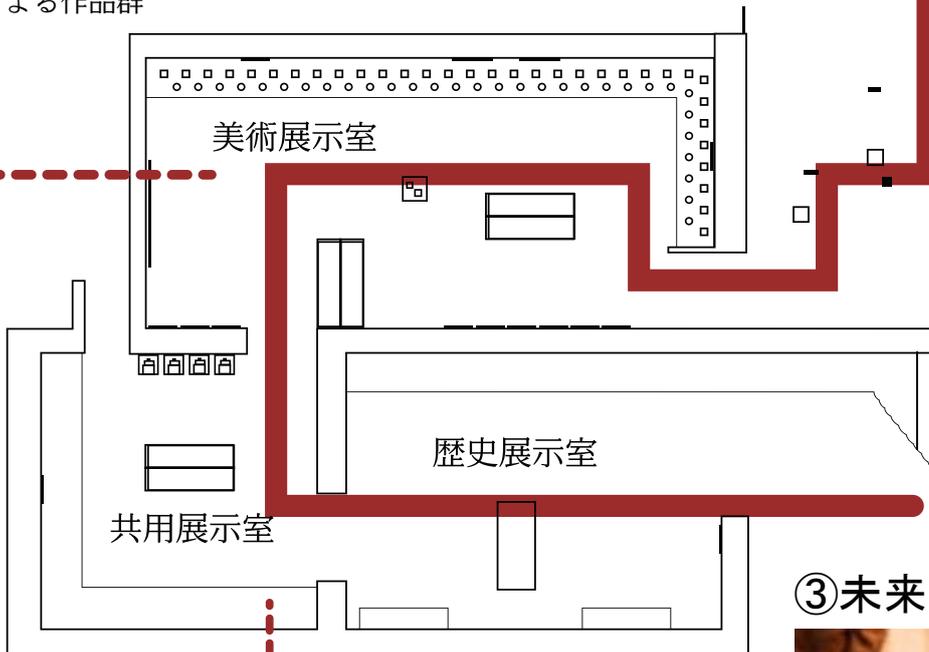
青森県弘前市を中心に360年にわたり受け継がれた津軽の漆は、「研ぎ出し変わり塗」といいます。漆は数十回塗り重ねて研磨仕上げを施すという独特の技法で作られています。塗り重ねた漆の底から浮かび上がってくる模様や色には、しっとりとした奥行きが感じられ、器に根付いた力強さは、上質な美しさとともに堅牢な実用性を備えています。

展示内容と致しましては、縄文時代の出土品や博物館が所蔵する近世の津軽塗古作品、現代の名工による作品、近年開発作品と提案型テーブルセッティングを3つのゾーンに分け、津軽塗の魅力を提案します。

②現在



伝統的工芸技法を徹底的に貫いた現代の名工による作品群



①過去



藩政時代に生み出された黎明期の作品群

③未来



テーブルウェアフェスティバルでの展示品を中心とした津軽塗の未来への挑戦



過去 —その昔—

数千年の年月が流れ、生を受け、暮らし、土に帰る
自然の恵みとの共存の中で生まれた「塗る」という行為
それはとても原始的な衝動

THE PAST -since then-

have passed several thousand years.

While the ancestors were born,lived and came to dust,in the co-existence with nature' s Blessings,
was born an Action of Lacquering,a very primary instinct.



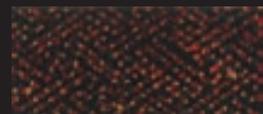
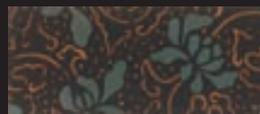
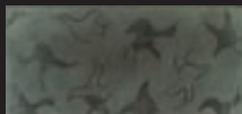
木製漆器椀・皿

中世 青森市・米山(2)遺跡



漆塗壺形土器

縄文時代晩期 青森県木造町亀ヶ岡遺跡出土
高 17.0



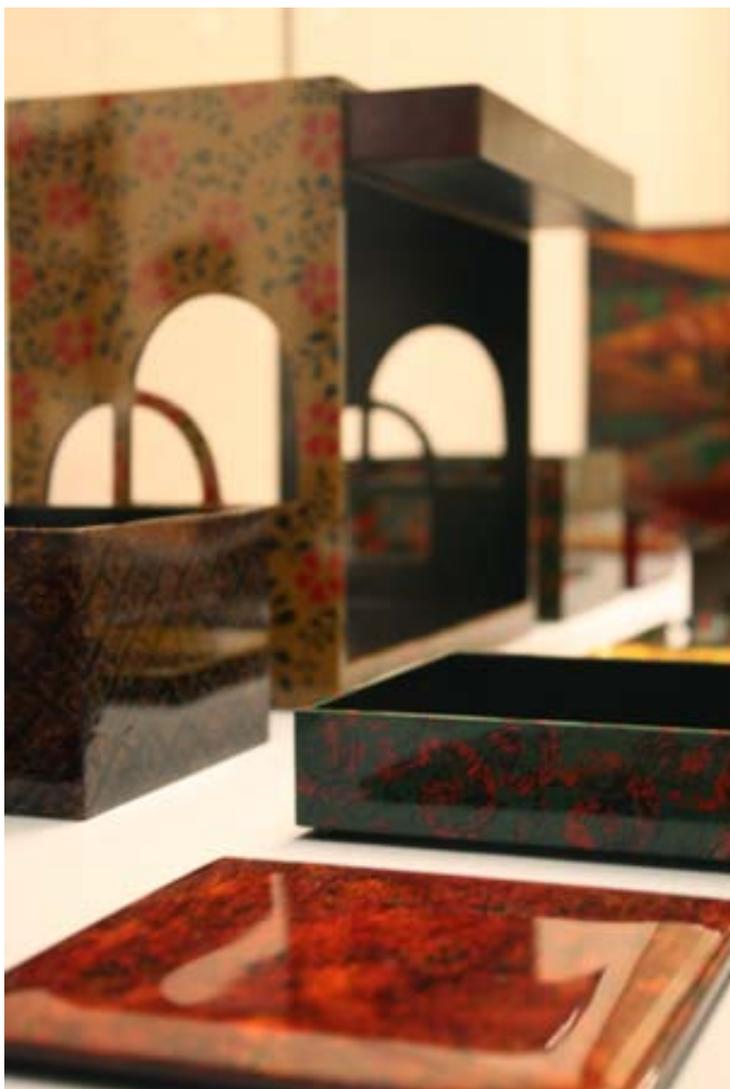
過去

青森県に根付いた漆文化の起源ともいえる縄文時代の出土品から、藩政時代に生み出された黎明期の作品までを展示しております。



手がき文散変塗花見弁当

江戸時代 津軽塗 12.5×19.7×19.3



津軽塗技術保存会

津軽塗技術の保存・伝承および振興を図ることを目的とした団体です。この目的を達成するために、古津軽塗再現を通して津軽塗の技術に関する記録及び保存、調査や研究、伝承者の養成、その他必要とされる様々な事業に取り組んでおります。



平成 17 年度に復元された盆も展示されています。

花見弁当箱（復元）

平成 23 年 3 月 完成

見本板の中から保存会が独自に選別し制作した花見弁当箱。
16種類もの古津軽塗で構成されております。

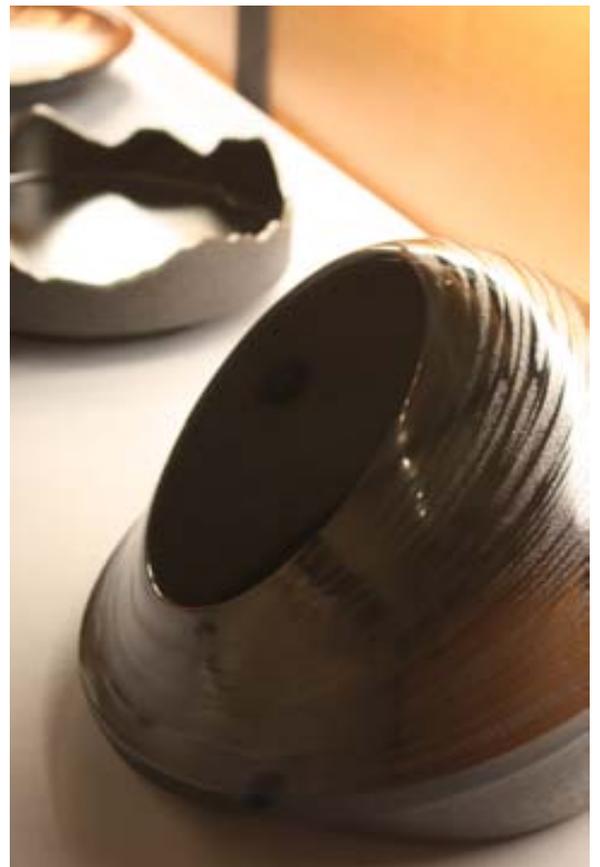




現在 一伝承する匠たち一

先人の息吹を受け継いで
ただひたすらに「技」を求め ただひたすらに「美」を求める
自己に潜む自己に真摯に向い 究極の技の果ては究極の美

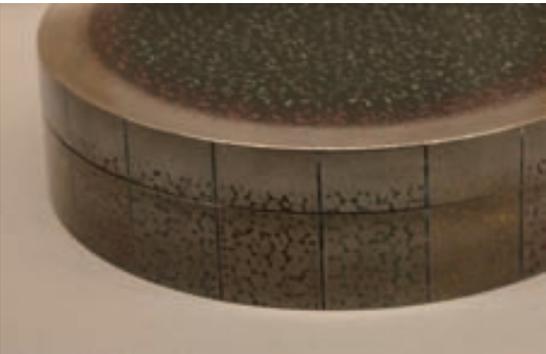
THE PRESENT -Craftspeople who succeed-
the breath of the ancestors, seek entirely for the skills,
face sincerely the self within themselves, was born
an Action of Lacquering.
The ultimate goal is the supreme beauty.



花器「雲海」
木村正男 (1941 ~ 2008)

現在

徒弟制度時代から続く、伝統工芸技法「研ぎ出しかわり塗」を徹底的に貫いた、現代の名工による作品を展示しております。





未来 一羽ばたく TSUGARU 温故創新一

湧いて止まない先人の魂は
時代・国を越え海を渡り
技と美を纏ったその情熱の形は
世界の人々の魂に出会い 感動を伝える

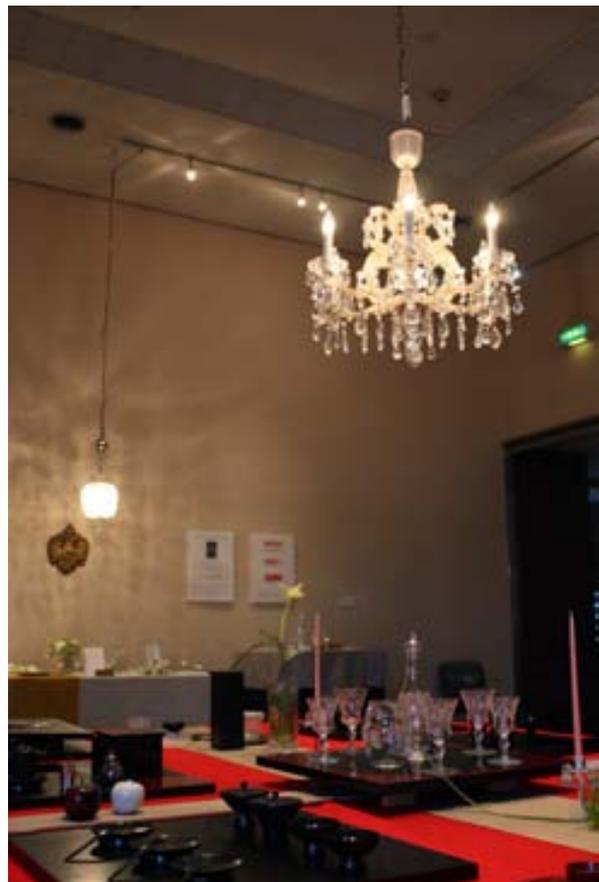
THE FUTURE -The rising TSUGARU, creations by learning from the past-
Ever-inspiring spirits of the ancestors cross the seas
beyond times and countries.

The passions embodied in the skills and the beauty meet the souls of
persons all over the world and convey them the inspirations.

LOBMEYR(ロブマイヤー)

オーストリアでもっとも優れたシャンデリアとグラスメーカーとして知られています。1823年ウィーンで設立、ハプスブルク家御用達の称号を得、手作りの伝統を守り、高度な熟練技法を現代に受け継ぐ「シックでエレガント」なガラス製品を送り出しています。

日本総代理店：
株式会社ロシナンテ(代表取締役 志村明一)
東京都港区南青山4-11-14 ユーロギア青山1F
Tel 03-3423-4552 Fax 03-3423-4554
<http://www.lobmeyr-salon.ecnet.jp/>



センターテーブル

主にテーブルウェアを中心とした、ロブマイヤーのグラスと津軽塗（しじま静寂塗・ななこ塗・紋紗塗）のコラボレーション展示です。



しじま
静寂塗



ななこ塗



紋紗塗

EKONOMIE (エコノミー)

津軽塗技術研修所(平成17～18年度)で一緒に津軽塗の技法を学んだメンバーが集まり、平成19年に組織されました。現在9名が所属し、それぞれの個性を活かした形で、津軽塗の制作に取り組んでいます。



うるおい椀

若手作家の瑞々しく新鮮な息吹のちいさな作品

塗っては研ぎ出す繰り返しの中で、ふと、漆の面白い表情を発見します。伝統の技を真摯に磨きながらも創造の世界へ吸い込まれる、そんな心震える瞬間を大切に、果敢に愛して楽しみ作られた、若手作家のお椀コレクションです。

オープニングセレモニー

開催記念として、4月16日午前10時より、弘前市立博物館ロビーにてテープカットが行われました。



葛西憲之市長からご祝辞を頂きました。



蝦名県副知事からご祝辞を頂きました。



テープカットも行われました。たか丸くんも応援に駆けつけてくれました。





ギャラリートーク

展示と併催して、ギャラリートークが行われました。



「津軽塗とデザイン」の様子です。4月23日(土)午後2時より行われました。講師は、JAGDA 青森地区(県内グラフィックデザイナー)に所属する4名(相馬茂氏、木村正幸氏、千葉玲子氏、池田守之氏)でした。

オープニング特別企画「津軽塗の魅力」の様子です。4月16日(土)午後2時より行われました。講師は今田功氏(テーブルウェアフェスティバル総合プロデューサー)と、星野佳氏(Hoshino Design ディスプレイデザイナー)でした。



【開催予定のギャラリートーク】

1、フリートーク

4月30日(土)

①午前10時より

「津軽塗をとりまく環境」

講師：津軽塗伝統工芸士

②午後2時より

「津軽塗の未来」

講師：若手津軽塗職人&女性プランナー

2、「世界最高のクリスタル〈ロブマイヤー〉と〈津軽塗〉一凛とした調和ー

5月4日(火) 午後2時より

講師：志村明一氏(ロブマイヤー日本総代理店 (株)ロシナンテ代表取締役)

津軽塗展詳細

【弘前市立博物館】

藩政のかなめとなった弘前城跡三の丸の一角に、お城と老松、自然と人工の美に取り囲まれて荘重なたたずまいを見せています。わが国を代表する建築家・前川國男設計により、昭和52年に開館して以来、津軽の歴史及び美術工芸その他資料の収集・保管・展示を行ってきました。当時の風土・伝統に培われた文化を紹介する企画展、優秀な歴史・美術工芸品を展覧する特別企画展を開催し、「知と美の調和」を目指し、地域文化の向上を図る活動を続けています。



【弘前地域研究所】

大正11年に弘前に青森県工業試験場として設立以来、ブナコをはじめとするクラフト製品や木製玩具の企画開発、ロブマイヤー(ウィーン)とコラボレーションした津軽塗製品の開発など、優れたプロダクツの企画開発、及びその支援をしています。

本展示会においては、企画、内外とのコーディネート、プロダクト、プロデュースを実施しています。

【同時開催】

1、津軽塗箸研ぎ体験（藤田記念庭園、EKONOMIE主催）

若手津軽塗職人グループ「EKONOMIE（エコノミー）」による津軽塗箸の研ぎ出し体験を行います。

日時：4月23日（土）～5月8日（日） 10:00～18:00

場所：藤田記念庭園 弘前市上白銀町8-1 tel 0172-37-5525

2、『津軽モダン&青森プレゼンツ展』（イシオカギャラリー、弘前地域研究所主催）

弘前地域研究所で実施している「津軽地域観光満足度アップ事業」の成果品「観光お土産品」を展示販売致します。

日時：4月16日（土）～5月8日（日） 10:00～18:00

場所：イシオカギャラリー 弘前市茂森町8-2 tel 0172-32-8992

【お問い合わせ】

●弘前市立博物館

弘前市大字下白銀町1-6 弘前公園内

tel 0172-35-0707

担当：鶴巻、木村

●地方独立行政法人 青森県産業技術センター

弘前地域研究所

弘前市袋町8-0

tel 0172-32-1466 fax 0172-35-5093

担当：小松、舘山

